

「TOPPANが実践するセキュリティ対策」セミナーアンケート結果

1. セミナー概要

開催日時： 2026年2月9日 15:00～16:00  
 開催方法： web開催（申込者に id番号とURLを連絡）  
 講師： TOPPANホールディングス株式会社 斎藤 様  
 申込者数： 82名（講師、事務局を除く）

所属団体	申込者数
印刷工業会	20
全日本印刷工業組合連合会	17
日本フォーム印刷工業連合会	23
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会	2
全日本製本工業組合連合会	0
全日本シール印刷協同組合連合会	0
全国グラフィック協同組合連合会	6
日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会	3
全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会	3
全日本光沢化工紙協同組合連合会	0
一般社団法人日本印刷産業連合会	8
合計（講師、事務局を除く）	82
合計（講師、事務局、日印産連を除く）	74

セミナー概要：

時間	項目	担当	内容
1 15:00 ~ 15:02	開会挨拶	茂木	・日印産連の情報セキュリティに関する活動、セミナー紹介 ・資料のダウンロードはなし ・録画の説明、録画開始
2 15:02 ~ 15:47	セミナー	TOPPANホールディングス 斎藤 様	「TOPPANが実践するセキュリティ対策」
3 15:47 ~ 15:57	質疑応答	斎藤 様 茂木	・視聴者からの質問2件、事務局からの質問1件回答
4 15:57 ~ 15:58	クロージング	茂木	・アンケート回答のお願い

2. アンケート結果

① 本セミナーはいかがでしたか？



・「非常に満足」「満足」で67%を占めている。  
 ・一方で「やや不満」「不満」と感じた方が12%いた。

② 本セミナーの長さはいかがでしたか？



・「適切」が96%を占めており、セミナーの時間は妥当であったといえる。

③ 本セミナーの内容は理解できましたか？



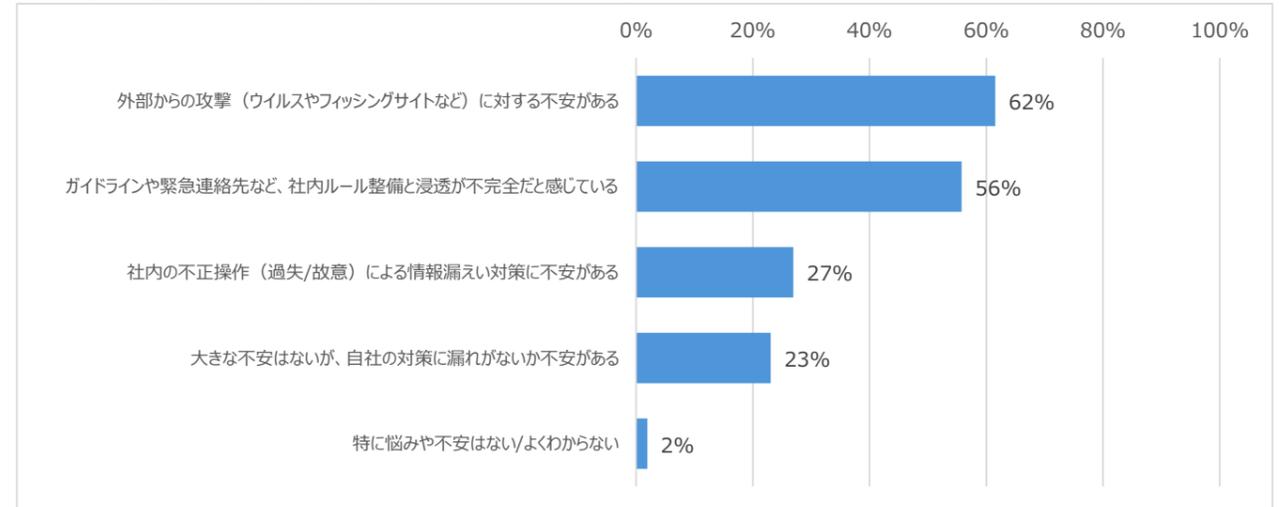
・「よく理解できた」「理解できた」で77%を占めている。  
 ・一方で「理解できない部分があった」を選択した方が、21%いた。  
 ・「まったく理解できなかった」を選択した方が、1名いた。

④ 本セミナーはあなたの職場や業務に役立ちそうですか？

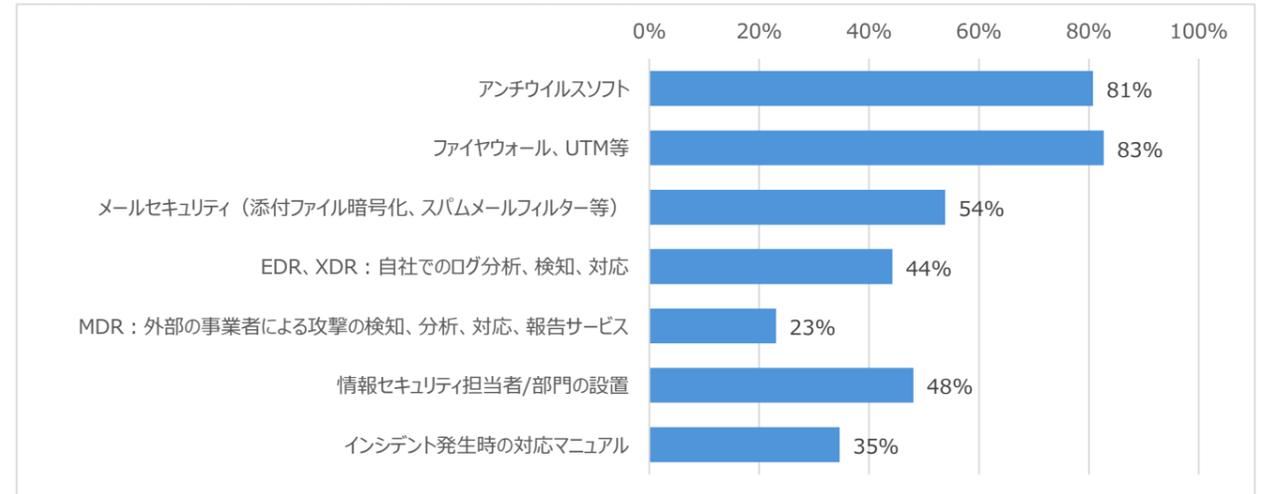


・「大変役に立つ」「役に立つ」で89%を占めている。  
 ・一方で「役に立たない」と感じた方が、10%いた。  
 ・「まったく役に立たない」と感じた方が1名いた。

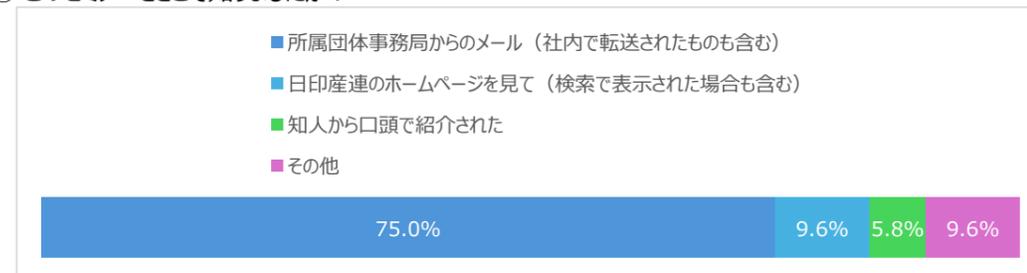
⑤ 次のうち、貴社に当てはまるお悩みはありますか？（複数回答）



⑥ 現在導入済みのセキュリティ対策を選んでください（複数回答）



⑦ このセミナーをどこで知りましたか？



「TOPPANが実践するセキュリティ対策」セミナーアンケート結果

⑧ 本セミナーの内容や運営に関するご意見・ご感想、また今後開催してほしいセミナーなどがありましたら、ご記入ください

本セミナーの内容や運営に関するご意見・ご感想、 また今後開催してほしいセミナーなどがありましたら、ご記入ください	ご回答、コメント
【セミナー内の質問】	【斎藤 様より】
当社では、社員が個人でAIを使い始めていますが、セキュリティリスクの理解がまだ浅く、会社としてのルールも未整備です。 御社では、生成AI活用において、社員のガバナンス・社内統制をどのようなステップで整備されたのか、最初に取り組んだことを教えていただけますでしょうか	・TOPPANでは、まず「AI倫理方針」を作成し、そこから開発における規定や細則を整備していった。 ・ブレーキとアクセル両方を踏む必要があり、その加減が難しい。 ・機微な情報を入力したら、その情報を含む内容がoutputされたというケースもあるので、AIのoutputをしっかりとチェックすることが大切。
御社のように人材や組織、スキル、設備などのリソースが揃っている企業では、仕組み化も進めやすいと思います。一方で、当社のような中小企業では、同じような体制を一気に整えるのは現実的に難しい部分もあります。その前提で、もし中小企業がAI活用やセキュリティ統制を進めるとしたら、まず最初に整えるべき「具体的な一歩」は何だとお考えでしょうか？ 可能であれば「最優先でやるべきことを1つ」教えていただけるとありがたいです。	・大切なことは、何か起きたことを検知できる状態にしておくこと。 ・そのために必要なのは「(情報)資産の特定」。どこに何があるかを、常日頃から把握しておくことが重要。
【事務局からの質問】 2025年度に発生した大手飲料メーカーや通信販売会社の事例を受けて、得意先からの情報セキュリティに関する要求に変化はありましたか？	・「サイバーリスクは、ビジネスリスク」と考える人が増えた。 ・TOPPANの得意先からも、「セキュリティの状況を確認させて欲しい」との要求が増えている。 ・政府が始める「セキュリティ対策評価制度」も含めて、対策が必須となっていくだろう。
【アンケートでの質問】	【日産連より】
セミナー参加が途中からになってしまったので、資料のダウンロードを希望します。 後日WEB公開があるとの事でしたので、公開される日程が決まりましたら、お知らせいただけますと幸いです。	・本セミナーの資料ダウンロードはありません ・セミナー録画は、3月4日から約1か月間公開します。
本日はありがとうございました。従業員のセキュリティ意識を向上させるための教育方法等で参考になりそうなセミナーを行って頂けると幸いです。	・2025年に開催した「サイバー攻撃対策セミナー」「ゼロから始めるセキュリティ対策セミナー」は、いかがでしたか？ 「ゼロから始めるセキュリティ対策セミナー」は、3月末まで視聴できます。 ・日産連のホームページに掲載しているコンテンツも、社内教育にご活用ください。
TOPPAN社のセキュリティ対策も一つ参考にはなりましたが、企業規模や体制などが当社よりも格上なので、当社が実施すべきセキュリティ対策としては参考になりませんでした。 中・小企業で実施している対策をご紹介頂けると幸いです。	・同じ業界のトップ企業の取り組みを紹介して欲しいとの要望があり、今回のセミナーを企画しました。 ・会社の規模に関わらず、まず最初に行うべきことは、斎藤様もおっしゃっていた「情報資産の特定」すなわち「情報とIT機器の棚卸」です。 ・「情報の棚卸」については、「情報特定台帳」の例と記入方法を説明した資料を、日産連のホームページからダウンロードできるようにします。 (2026年3月末予定) ・「IT機器の棚卸」に関連しては、2026年6月に脆弱性診断に関するセミナーを開催予定です。
セキュリティや生成AIのリテラシー向上施策について、他社の事例などご紹介いただけたらと思います。	・2025年に開催した「ゼロから始めるセキュリティ対策セミナー」は、3月末まで視聴できます。 日産連のホームページに掲載しているコンテンツと併せて、社内教育にご活用ください。 ・生成AIに関する情報セキュリティにつきましては、「生成AI 情報漏洩 事例」でネット検索すると参考になる事例が参照できます。
まず最初にやるべきことや今後の対応についてが参考になりました。	・いろいろなセミナーで共通して、まず最初にやることとして説明しているのは、斎藤様もおっしゃっていた「情報資産の特定」すなわち「情報とIT機器の棚卸」です。
もう少し具体的な対応や発生事例に関する説明が欲しかった。	・2025年に開催した「サイバー攻撃対策セミナー」「ゼロから始めるセキュリティ対策セミナー」で説明された事例は、いかがでしたか？ 「ゼロから始めるセキュリティ対策セミナー」は、3月末まで視聴できます。
対象が「経営者・情報セキュリティ担当者」という設定ですが、TOPPANの取組みは大きくまた深すぎて、参加者の理解度はどうだったのでしょうか？	・「2. アンケート結果」の「③本セミナーの内容は理解できましたか？」の項目をご参照ください。
今回のセミナーは正論だと思えます。ただ中小企業だと「棚卸しをする人がいない」というのが現実です。それでも最低限守るなら、どんな単位で区切って管理を始めるべきか、がセミナーおよび質疑応答ではわかりませんでした。	・いろいろなセミナーで最初にやることとして説明しているのは、斎藤様もおっしゃっていた「情報資産の特定」すなわち「情報とIT機器の棚卸」です。 ・「情報」の棚卸をして、まずは個人情報や企業秘密など機密性の高い情報を扱っている部署や場所から対策を打つ、という進め方もあると思います。 ・「情報の棚卸」については、「情報特定台帳」の例と記入方法を説明した資料を、日産連のホームページからダウンロードできるようにします。 (2026年3月末予定) ・「IT機器の棚卸」に関連しては、2026年6月に脆弱性診断に関するセミナーを開催予定です。
大変参考になる内容でした。しかしながら、いざ自社にセキュリティ施策を導入する場合には事業部門を説得する材料やロードマップを詳細に検討する必要があると感じました。	・これから導入される場合は、経済産業省の下記ホームページが参考になると思います。 <a href="https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/sme-guide.html">https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/sme-guide.html</a>

3. 今後の活動予定

- ・本セミナーの録画は、3月4日から約1か月間、日産連のホームページで視聴できるようにする。
- ・2026年度も、情報セキュリティに関するセミナー開催、コンテンツの作成・更新を継続する。
- ・2026年6月に、脆弱性診断に関するセミナーを開催する。